



## 講師プロフィール



くりき のぶかず  
**栗城 史多**

- 1982年 北海道生まれ
- 身長162cm ○体重60kg
- 著書  
『一步を越える勇気』(サンマーク出版)  
『NO LIMIT 自分を超える方法』  
(サンクチュアリ出版)
- 栗城史多オフィシャルサイト  
<http://kurikiyama.jp/>

高校卒業しても夢も目標もなく、ただ都会にあこがれ東京へ向かうも挫折。1年間フリーク・ニート生活を行い、上京1年後には北海道に戻り、大学に進学。あることがきっかけで山岳部に入部する。

山岳部に入部して2年後の2004年6月、初の海外旅行で北米大陸最高峰の「マッキンリー」(6194m)を単独登頂。

2005年1月、南米最高峰「アコンカグア」(ポーランド氷河)に単独登頂後、「山と地球を感じたいみたい」と思い、6大陸最高峰を単独登頂してきた。

卒業後2007年からはヒマラヤ8000m峰を目指すようになり、2007年5月、ヒマラヤ初遠征で世界第6位高峰「チヨ・オユー」(8201m)の単独・無酸素登頂を果たす。その時からインターネットを通じての動画配信を行い、「冒険の共有」を目指すようになる。

2008年10月には、世界第8位高峰「マナスル」(8163m)で、日本人として初となる単独・無酸素登頂と、山頂直下からのスキー滑降に成功。

2009年5月、世界第7位高峰「ダウラギリ」(8167m)の単独・無酸素登頂に成功し、6000m地点からインターネット中継も行う。

2009年9月には「エベレスト」(8848m)のグレードクロワールからの単独・無酸素登頂とインターネット生中継を目指すが、7950m近くで下山。

2010年2月にアラスカ・チュガツチにてバックカントリー遠征。

2010年5月に「アンナプルナ」(8091m)登頂を目指し、2度アタックするも残り400mのところで下山。

2010年9月にエベレスト(ネパール側)からのリベンジ登山を行うが、7750m地点で下山。

現在、全国で講演活動を行いながら、スキーと高所登山、そしてエベレストのインターネットライブ中継という新しい冒険を目指し突き進む。

座右の銘「限界も国境も自分が作った幻想である」  
使命は、「冒険の共有を目指し、多くの人がもつてている心の壁を取り払い、一步踏み出す勇気を伝えること」